



## 慶應義塾大学ビジネス・スクール

# アサヒグループホールディングス（A）

5

## —女性活躍推進の取り組み—

### はじめに

アサヒグループホールディングス<sup>[1]</sup>は、ダイバーシティに積極的な企業として様々な媒体でしばしば取り上げられる。 10

2014年にはダイバーシティ経営企業100選に選出され、2015年には、「プラチナくるみん」を取得した<sup>[2]</sup>。また、2016年には「なでしこ銘柄」に選定された<sup>[3]</sup>。

アサヒグループの本社ビルは、東京・吾妻橋の隅田川沿いにある印象的な建物である。琥珀色のガラスと頭頂部の白い外壁で、泡のあふれるビールジョッキをイメージしているという。ダイバーシティ推進グループリーダーのHは、これまでの取り組みを振り返りつつ、今後の課題について思いをめぐらせていた。 15

### アサヒビールの歴史

20

アサヒビールは、1889年創業の大日本麦酒株式会社が起源である。1949年、過度経済力集中排除法により、大日本麦酒は朝日麦酒（現・アサヒビール）と日本麦酒（現・サッポロビール）に分割され、アサヒビールが誕生した。分割当時のビールのシェアは、サッポロ38.7%、アサヒ36.1%、キリン25.3%であった。

関西市場を主戦場としてきたアサヒビールは、高度成長による東京一極集中に伴って、国内シェアを 25

[1] 2011年7月1日、アサヒビール株式会社は、純粋持株会社「アサヒグループホールディングス株式会社」に移行した。

[2] ダイバーシティ企業100選と「プラチナくるみん」は、事業会社のアサヒビール株式会社が取得した。

[3] アサヒグループホールディングスが選定された。

本ケースは、慶應義塾大学大学院経営管理研究科准教授 林 洋一郎の監修のもと、同研究科 M37 の坂入 誠が作成した。本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話045-564-2444、e-mail:case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は<http://www.kbs.keio.ac.jp/>へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。 30

Copyright © 林 洋一郎、坂入 誠（2016年6月作成）